

令和7年8月18日14時00分

がん感染症疾病対策課
直 通：092-643-3597
内 線：3064・3065
担 当：中尾、長藤

結核の集団感染について

粕屋保健福祉事務所に届出があった肺結核患者の接触者について、疫学調査及び健康診断等を実施したところ、結核の集団感染（※1）が確認されたことから、お知らせします。

1 初発患者

（1）年齢等・居住地

20代、男性、古賀市

（2）臨床経過

令和7年 7月 7日 学校健診にて胸部X線（レントゲン）検査にて異常所見あり。

7月21日 発熱、咳嗽、血痰、胸痛が出現

7月23日 A医療機関を受診し、胸部CT検査にて結核を疑われる。

7月24日 B医療機関を紹介受診し、核酸増幅法検査陽性が判明し、肺結核と診断される。

7月28日 7月25日に採取した喀痰塗抹検査陽性が判明し、B医療機関に入院となる。

2 接触者の状況

初発患者に接触した可能性のある、日本語学校の学生・職員等計28名を対象に、7月から順次、健康診断等を実施した。

3 患者及び健康診断の結果判明した患者等の概要

令和7年8月18日現在、初発患者を含め、結核患者3名、感染者14名を確認

		年代	男性	女性	計
初発患者		20代	1		1
健康診断で 異常のあった者 の内訳	患者数	20代		2	2
	感染者数	40代		1	14
		20代	7	5	
		10代	1		

4 今後の対応

患者及び感染者に対して、服薬治療の継続を支援するとともに、定期的に健康状態を確認し、健康管理について指導を行っている。また、接触者に対しては、接触者健康診断を実施していく。

<備考>

※1 同一の感染源が、2家族以上にまたがり、かつ感染者が20人以上発生した場合をいう。発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算する。

なお、感染者とは、血液検査の結果、結核菌に感染していると判断されるが、発病に至っていない者。

【特記事項】

発病者、感染者及び接触者等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、資料提供の範囲内での報道をお願いいたします。

【県民の皆様へのお願い】

結核の初期症状は「かぜ」に似ています。咳や熱が2週間以上続くときは、医療機関を受診しましょう。

早期に発見できれば、まわりの方への感染を防げます。

- 結核は、「結核菌」という細菌により感染します。
 - 結核を発病し、たんの中に結核菌が出ている患者さんが、咳やくしゃみをする事で、しぶきに含まれる結核菌が空気中に飛び散り、それを他の人が吸い込むことで感染します。
- 結核における「感染」と「発病」
 - 結核菌を吸い込んでも必ず感染するわけではありません。多くの場合、体の抵抗力により追い出されます。また、感染しても、ほとんどの場合、免疫によって結核菌が封じ込められるため、一生発病しません。感染だけでは、人にうつす心配はありません。
 - 発病とは、感染した後、結核菌が活動し始めて菌が増え、肺などの体の組織を冒してゆくことです。感染者のうち、約1割が発病すると言われています。また、発病者の8割は、感染してから2年以内に発病すると言われています。
 - 結核菌が増えていく理由はよくわかっていませんが、抵抗力が弱っている高齢者、過労、栄養不良等の方では、結核菌が活動しやすく発病しやすいと考えられています。
- 「感染」や「発病」は検査でわかります。
 - 結核に感染しているかどうかは、血液検査やツベルクリン検査でわかります。また、結核を発病しているかどうかは、胸部エックス線検査等で診断します。
 - 結核の主な症状は、咳、たん、発熱などの呼吸器症状ですが、発病初期は、かぜとよく似ていて、見逃されることがあります。2週間以上、咳やたんが続くようなら、結核を疑って早めに医療機関を受診することが大切です。
- 結核は薬を飲めば治ります。
 - 現在、結核は、よく効く薬が開発され、3～4種類の薬を6か月から12か月の間、確実に服薬すれば治る病気です。しかし、治療が遅れて重症化すると死亡することもあります。